

IIIIII2026 年度 総会報告 IIIIII

去る 2025 年 3 月 26 日(木), オンライン開催において 2026 年度総会が開催された。以下に議事を報告いたします。

1. 会長挨拶
2. 選挙結果報告

役員選挙結果

<得票総数 74件> 有効票 73件、白票 1件

候補者氏名 (五十音順)	所属	得票
今井 良二	室蘭工業大学	69
上野 一郎	東京理科大学	69
河南 治	兵庫県立大学	68
桜井 誠人	宇宙航空研究開発機構	70
鈴木 裕太	同志社大学	66
高橋 周平	岐阜大学	66
豊島 悠輝	Space BD(株)	67

<新役員名簿>

会長 渡邊 匡人 学習院大学
副会長 今井 良二 室蘭工業大学★
庶務/広報 (HP・SNS・他)
桜井 誠人 宇宙航空研究開発機構
編集委員長/JASMAC 実行副委員長
河南 治 兵庫県立大学★
会計 高橋 周平 岐阜大学★
理事 宇宙惑星居住科学連合連携
桜井 誠人 宇宙航空研究開発機構
理事 学会顕彰 上野 一郎 東京理科大学★
理事 学術会議対応 (若手の会)
JASMAC 学生表彰/広報 (HP・SNS・他)
齊藤 允教 日本大学
理事 企画・戦略 (Scopus 対象誌化推進)
田川 俊夫 東京都立大学
理事 JASMAC-37 開催 今井 良二 室蘭工業大学★
理事 JASMAC-38 開催 渡邊 匡人 学習院大学
理事 AMS2026 開催 河南 治 兵庫県立大学★
理事 広報 (HP・SNS・他)
鈴木 裕太 同志社大学★
理事 ニューススペースとの連携
豊島 悠輝 Space BD(株)★
理事 ベイロード・地上実験
山本 信 (株)IHI 検査計測
監事 佐藤 巨光 有人宇宙システム(株)
無印・・・2025 年 4 月～2027 年 3 月
★印・・・2026 年 4 月～2028 年 3 月

<賛助会員企業一覧>

【3 口会員】 1 社 (株)IHI エアロスペース富岡事業所
【1 口会員】 2 社 ダイヤモンドエアサービス(株)
(一財)日本宇宙フォーラム

<2025 年度会員異動報告>

入会: 正会員 1 名
学生会員 14 名 計 15 名
退会: 正会員 2 名
学生会員 24 名 計 26 名
除名 正会員 0 名
学生会員 0 名 計 0 名

<2025 年 3 月 20 日現在会員数>

正会員 102 名
学生会員 51 名
永年会員* 20 名
顧問 3 名
賛助会員 3 件 (5 口) 計 176 名, 3 件

3. 役員を選任
4. 新役員挨拶

■2025 年度活動報告■

活動について各担当理事より事業報告があった。

【事業報告】

1 月 第 138 回編集委員会, JAMSS とミーティング
吉田先生とミーティング, ゆうこ先生と打合せ
2 月 AMS 打合せ
3 月 AMS 打合せ 2 回, 若手の会引継ぎ, プレ理事会
2025 年度理事会・総会
4 月 JASMAC-37 実行委員会,
AMS プログラム委員会, 第 139 回編集委員会
東京大学本郷キャンパスにてパンフレットを
配布
6 月 若手の会ミーティング
7 月 JASMAC-37 実行委員会, 第 140 回編集委員会
8 月 毛利ポスター打合せ, AMS 会場打合せ,
幹事打合せ, JASMAC-38 打合せ,
AMS 第 1 回実行委員会
8 月 若手夏の学校 2025
9 月 若手の会ミーティング, JASMAC-37 開催
2025 年秋季理事会・総会
10 月 第 141 回編集委員会, AMS 阪急と打合せ
若手の会活動 (日本大学祭), スコーパス打合せ
アトラス (編集・会費管理) 打合せ
AMS 第 2 回実行委員会
12 月 査読システム導入検討ミーティング
スコーパス申請ミーティング

【協賛報告】 2025年1月1日-12月31日

承諾日 会議名/主催団体/会期

4/1 「宇宙技術および科学の国際シンポジウム」アスティ
とくしま 2025.7.12-18

4/7 「Twenty-second International Conference on Flow
Dynamics (ICFD2025)」《ハイブリット開催》
仙台国際センター 2025.11.1 0-13

5/21 「第46回日本熱物性シンポジウム」アバンセ
(佐賀県) 2025.10.8-101

6/17 「2025年生態工学会年次大会」柏の葉カンファレ
ンスセンター(千葉県) 2025.7.4-5

7/7 「第54回結晶成長国内会議(JCCG-54)」金沢商工
会議所会館(石川県) 2025.11.11-13

8/25 「2025年度材研オープンセミナー「構造不規則系の
材料科学基礎と新展開」

9/4 「第64回燃焼シンポジウム」福岡国際会議場
2025.11.4-6

【若手の会活動報告】

微小重力科学 若手夏の学校 2025

- ・ 日程: 8/9-8/10
- ・ 場所: 早稲田大学セミナーハウス
- ・ 内容: 講師によるレクチャーとワークショップ
研究発表, 懇親会
- ・ 参加者数: 40名

微小重力科学の研究成果の発信

- ・ 日程: 10/12
- ・ 場所: 日本大学の学祭(桜理祭)
- ・ 内容: ・ポスター展示(JASMAC等で発表済みのもの)
・学会の活動内容のパンフレット製作・配布
・自作浮遊装置による水滴の浮遊実験

オンライン交流会・幹事会

- ・ 回数: 2025年度は7回実施
- ・ 場所: オンライン
- ・ 内容: イベントの企画・準備, 研究室紹介等
- ・ 参加者: 各大学・機関の代表者12名

【編集委員会事業報告】

Vol.42-1 (2025.1)

- ・ Thermophysical Property Measurements of Liquid Nickel-Based Alloys by an Electrostatic Levitator/ Yuki WATANABE, KOYAMA Chihiro, ISHIKAWA Takehiko, P.-F. PARADIS
- ・ Effects of Ambient Oxygen Volume Fraction on the Spontaneous Ignition Behavior of Isolated n-Decane Droplets/ Shion ANDO, Meiki SASAKI, YASUDA Taiga, MORIUE Osamu
- ・ Circulation of Microparticles in a Glass Tube - Similarity to Thomson-Einstein's Tea Leaf Paradox -/ Yoshifumi

SAITOU

- ・ Prediction of Impurity Diffusion Coefficients in Liquid Sn including Effect of Atomic Weight/ Masato SHIINOKI, Kanemaru NOBORIBAYASHI, Yuki NISHIMURA, Arisa YAMANAK ...

Vol.42-2 (2025.4)

- ・ Appearance of Soot/Bubble Bursting during Burning PMMA Sphere in Microgravity and Its Potential Effect on Burning Rate Constant/ Rumi MATSUMOTO, Taichi OGAWA, Amaryllis Kiwin WELLSON, Daiki MATSUGI, ...

- ・ Density of a Molten Stainless Steel-B4C Alloy Measured in the Electrostatic Levitation Furnace Onboard the International Space Station/ Takehiko ISHIKAWA, Hirohisa ODA, Chihiro KOYAMA, Rina SHIMONISHI, Rumi ...

- ・ Three-Dimensional Analysis of the Number of Grains in Electrostatic Levitation Experimental Sample/ Koei KADOI, Yuto UEDA, Yuta KUSHIYA, Haruka UENO, Yuji MABUCHI, Chihir ...

Vol.42-3 (2025.7)

- ・ Surface Tension of Molten Zircaloy Measured by the Oscillating Droplet Method Using Electromagnetic Levitation/ Yusaku SEIMIYA, Takahiro SUZUKI, Ayumi MIO, Shumpei OZAWA

- ・ Cool Flame Spread Behavior near Spontaneous Ignition Limit along n-Decane Droplet Array under Microgravity by a TEXUS Rocket/ Masanori SAITO, Yusuke SUGANUMA, Kazuki IEMURA, Yusei TAKAHATA, Noelia ...

- ・ Design of partial-gravity generator launching over a lowfriction slope: upgraded SSMe (SSMe 2.0)/ Haruhiko GOSHU, Daiki MATSUGI, Yuji NAKAMURA

Vol.42-4 (2025.10)

- ・ Fabrication of Two-Dimensional Colloidal Crystals of Charged Titania Particles/ Madoka MINAMI, Wataru TSUNODA, Hiroyuki MIKI, Minori FUJITA, Akiko TOY ...

- ・ Phase Separation Phenomena of Liquid Fe-60atomic%Cu Alloys under the Microgravity Condition/ Tadahiko MASAKI, Shun MURATA, Tatsuya TAKEKAWA, Shun SHIKICHI, Hidekaz ...

- ・ Gravity Response of Bulk Flickering Dynamics over Wick-assisted Diffusion Flames/ Haruhiko GOSHU, Daiki MATSUGI, Yuji NAKAMURA ●Vol.1-No.1 から現在まで
全ての論文を J-stage 公開済み

【編集委員会事業】

論文賞の推薦：

編集委員会より過去5年間に発行された論文から推薦。
今年度はJASMA論文賞の候補として3論文を推薦。
この取組は2025年度で一旦終了。

インパクトファクターについて：

1.3 (2025年6月 継続)

編集方針：

前編集委員長方針

- ・各号に幾つかの分野の論文を掲載する編集方針
- ・編集委員を増加し分野の拡大

を踏襲し全編集委員の協力のもと、論文数増加を継続。

順調に論文数を確保できる体制が整ってきた。

SCOPUS掲載取組とリンク。

【表彰関係事業】

JASMAC-37にて表彰

1) 2025年度論文賞：

“Density of Molten Zirconium-Oxygen System Measured with an Electrostatic Levitation Furnace in the International Space Station”

H. ODA, C. KOYAMA, M. OHSHIO, H. SARUWATARI, T. ISHIKAWA

Int. J. Microgravity Sci. Appl. 2020 p370302

2) 2025年度研究奨励賞：金野 佑亮 (北海道大学)

3) 2025年度若手奨励賞：門井 洸衛 (早稲田大学)

4) 2025年度貢献賞：

木暮 和美 (元 (一財) 宇宙フォーラム)

福中 康博 (元 京都大学)

古川 義純 (元 北海道大学)

郵送にてJASMAC-37 学生口頭発表表彰

・稲川 昌樹 (東京理科大学)

「繊維束状多孔質体内への粘性流体含浸過程とポイド形成に関する数値解析 一複雑流内気液二相流での気液分離制御機構に向けて一」

・門井 洸衛 (早稲田大学)

「ISS-ELF で溶融凝固させたTiC添加Ti-6Al-4V試料におけるSPRING-8のXRD-CTを用いた粒度推定」

・森 隼人 (山口大学)

「微小重力実験に向けた大気圧・低温環境での低沸点燃料の液滴生成および高温環境での燃焼の試み」

【広報事業報告】

・JASMA広報事業の進め方を担当理事で協議した。

・「JASMA」とは何か、に答えられるパンフレットを若手の会で作成した。2025年4月3日、4日、日本航空宇宙学会年会@東京大学本郷キャンパスにてパンフレットを配布した。

・JASMAでも積極的に活用することを依頼した。

・2025年1月にゆうこ博士と打ち合わせを行い、過去の宇宙実験の動画などを見ていただき、学会参加の増員に関して意見交換した。

・JASMAC室蘭にて「Space Festival in Muroran」と題して一般向けに公開講座を行った。

【JASMAC-37開催報告】

実行委員長の今井理事より盛況な開催ができたことの報告があった。・JASMA広報事業の進め方を担当理事で協議した。

【会計報告】

<2025年度決算>

2025年度決算、橋本望理事(会計担当)および渡邊監事による監査結果について報告され、質疑応答の後承認された。

<2026年度予算>

2026年度予算案が、高橋周平理事(会計担当)より示され、質疑応答の後承認された。

■2026年度事業活動計画■

活動計画について各担当理事より報告があった。

【JASMA活性化事業】

- ・若手の会の活動支援を強化、若手の会活動計画
- ・財政上、去年度に引き続き分科会は一旦中止
- ・宇宙惑星居住科学連合との連携強化
- ・高校生へのアウトリーチ活動

【表彰関係事業】

2026年度日本マイクログラビティ応用学会学会賞公募

2026年度日本マイクログラビティ応用学会論文賞公募

2026年度日本マイクログラビティ応用学会研究奨励賞公募

2026年度日本マイクログラビティ応用学会若手奨励賞公募

・4月に公募、締め切りは5月31日

JASMAC-38 学生口頭発表賞選考

【編集委員会事業計画】

1) e-journal「IJMSA」Vol.43 No.1~4 (2026)の発行(Web)

Vol.43-1 1月末(発行済み)

Vol.43-2 4月末発行、1月末入稿〆切

Vol.43-3 7月末、4月末入稿〆切

Vol.43-4 10月末、7月末入稿〆切

2) インパクトファクターの取得について：引き続き引用件数増加をはかり、IF継続を狙う。Scopusへ再度申請を行う準備を進めている。

3) 投稿料(掲載料)の改訂、査読システムの導入

編集方針：

順調に論文数を確保できる体制が整ってきたので、さらに、特定の分野、研究プロジェクトで特集が組むことができれば随時組み込んでいく。また、AMS2026・JASMAC-38開催のため、論文数の増加が期待できるため、全編集委員の協力のもと、強化を継続していく。

【イベント事業】

AMS2026 & JASMAC-38

日時：2026年11月30日（月）～12月4日（金）

場所：淡路夢舞台国際会議場

AMS 実行委員長：河南 治（兵庫県立大学）

JASMAC-38 実行委員長：渡邊 匡人（学習院大学）

【若手の会活動計画】

微小重力科学 若手夏の学校 2026

- ・2026年度は種子島にて実施
- ・TNSC バスツアー，ポスター発表，外部講師による勉強会などを企画

- ・参加大学・機関の拡大（開催日程の早期調整・周知）

微小重力科学の研究成果の発信

- ・大学祭での展示，パンフレット配布
- ・別の発信方法の模索

交流会・幹事会

- ・定期的なオンライン会議
- ・対面での交流会

HP の整備

【広報事業】

JASMA 広報事業の進め方を担当理事で協議し、引き続き下記の方策を検討する。

- 1) JASMAC への民間企業の参画を強化する（企業展示や特別講演など）
- 2) 宇宙惑星居住科学連合との連携を強化する。
- 3) JASMA 主催によるセミナーの開催。New Space の交流の場を提供する。
- 4) 学会として高校等への出張授業を受け付ける。
- 5) JASMA ホームページの更新の頻度を上げる。X、YouTube など SNS による配信を強化する。